



特集 東京研修旅行

10月12日(祝)から15日(木)まで3泊4日の日程で、2年生141名が研修旅行に出かけました。この間、事故もなく天候にも恵まれて、全行程を滞りなく進めることができました。

▶▶▶日本科学未来館

梶田隆章氏のノーベル物理学賞、大村智氏の医学生理学賞の受賞直後であったため、ノーベル賞関係のブースで研究者が解説をしていました。展示物は先端領域のものが中心で、アンドロイドやASIMO、しんかい6500(レプリカ)、宇宙工学、環境工学、素粒子、脳科学、深海生物、分子生物学、IPS細胞など。1時間ちょっとの滞在時間は、理系の生徒には短かったのではないのでしょうか。三連休の最終日で館内は賑わっていました。

▶▶▶イブニングセミナー「仕事と建築と雲南市」 竹部友久氏(37期卒)

竹部友久氏は、今秋完成した雲南市役所新庁舎の設計に携わった方です。イブニングセミナーでは、父親に連れられて見た代々木体育館のエピソードに始まり、高校時代はバスケットボール部に所属していたことや日々の学習状況、進学先を決めた経緯に続き、大学生活や研究室選びのポイントについての話がありました。つづいて株式会社日本設計で設計した建物の紹介や、建築にかかわる職業や学問についての話、快適な住環境と環境負荷低減を両立する取り組みについて、震災以後のエネルギー需給と合わせて詳しく話をしてくださりました。また、雲南市役所新庁舎の空調、パネル、ルーバーなどの仕組みや雲南市の植物にちなんで床を配色したこだわりも知ることができました。最後に、人生において勉強に専念できる時期が限られていて、その時期に多くを学ぶほうが良いということ、島根県・雲南市と東京都の長所短所を対照的に示し、Uターンをするなら35歳までにしたほうが良いなど具体的に話されました。故郷や母校への思いを忘れずにいて欲しいという言葉が心に残りました。

▶▶▶アカデミックインターンシップⅡ

10月6日にアカデミックインターンシップⅡに先立ち、NPO法人NEWVERYの倉部史記さんを講師でお招きし、「15年後に向けた大学・学部選び」と題して、事前講義を受けました。既存の職業だけを考えているのは変化が激しい社会で生きていけない。変化に対応できる能力を身につけるべき。そのための大学選びについて講演していただきました。

研修旅行2日目は、麗澤大学、日本工業大学、帝京大学、駒沢女子大学、横浜美術大学、関東学院大学の6大学8コースに分かれて大学の講義を受けました。オープンキャンパスや高校生向けの模擬授業と違い大学生が受ける授業の体験です。受講前にガイダンスがあり、大学や学部のイメージ、大学案内の見方などの説明を受けました。学食での昼食を挟んで午前と午後1コマずつ体験し、振り返りを行いました。「大学の教室には時計がない」「遅刻してくる学生がいた」「学



科の内容以外の講義がある」「大学生はまじめだった」など最初の予想との違いや感じたことなどを共有していました。なかには理解できない内容の講義があったかもしれません。高校でしっかり学ばなければ、大学でついていけなくなる。そう感じてくれたらと思います。これから大学を選択するうえで、この経験が役に立つことを期待しています。



▶▶▶班別自主研修

研修旅行3日目は、課題解決に向けて大学・研究所・企業等で、専門家の方に話を伺いました。



▶▶▶東京ディズニーランド

今年はホテルが近かったこともあり、6時間以上の滞在になりましたが、アトラクションを楽しんでいる生徒が少なかったように感じました。買い物が忙しかったのでしょうか。



1年

・マナー講座 [9月9日 於大講義室]

株式会社さんぼうより、加藤節子先生をお招きし、1年生の「地域産業研究」実習に向けての指導として「マナー講座」を行いました。表情やしぐさのちょっとした違いで人の印象が変わって見えること、あいさつは「あかるく、いつも、さきに、つづける」(はじめの文字をつなげて「あいさつ」)が大事であること、仕事において求められるコミュニケーションの力などをご指導いただきました。実習中だけでなく、日ごろの学校生活においても大切にしたいことを教わることでできたと思います。



・「地域産業研究」実習 [10月14日～16日]

1年生136名が54の事業所に分かれて3日間「地域産業研究」実習を行いました。地域産業への理解を深めることを通して「課題発見・課題解決能力」を身につけるという目的のもと、一昨年まで「インターンシップ」と称して行っていたものを『「地域産業研究」実習』と改称して実施しています。「産業社会と人間」の授業で講演会などを通して雲南地区の地域産業の概要を学習した後、夏休み課題として各生徒が関心のある産業についての「地域を元気にするアイデア」をまとめました。今回の実習では、職場体験をさせていただく中で、そのアイデアについてインタビューを行うなど、実践可能なものであるかどうか検証を行いました。現在、その結果をまとめて発表会にむけての準備を進めています。



・**予告**授業「大学」 [11月7日 13:10～14:50 於各HR]

島根大学の学生、約30名に来校していただき、1年生に対して進路についての考えを深めさせたり大学生活の魅力などを伝えてもらう授業を予定しております。1年各クラスを小グループにわけて、それぞれのグループにファシリテーター(進行役)として大学生に入ってください、話し合いや意見交換をしながら授業を展開します。

・**予告**「地域産業研究」学年発表会 [12月9日 13:10～15:45 於大講義室]

1年生が「産業社会と人間」の授業の中ですすめてきた「地域産業研究」の発表会を予定しています。各クラス代表2名(予定)が発表を行います。各生徒の研究テーマである「地域を元気にするアイデア」について、実習を通してどのような検証を行い、どのような結果を得たか発表します。

2年

・**予告**うんなん『宝』発見成果発表会 [11月7日 13:00～16:00 於ラメール]

「地域でつなぐキャリア教育モデル事業」に基づいた取り組みの成果を発表します。雲南市内の高等学校と、土曜日学習に参加している中学生が発表します。本校は2年生が課題研究の口頭発表をします。

ゲスト 浦崎太郎氏(岐阜県立可児高等学校教諭) 河野義知氏(愛媛県立新居浜南高等学校教諭)
水畑順作氏(文部科学省生涯学習政策局企画官)

・**予告**ライフプランⅡ・志望理由書講演会 [1 2月 8日 14:05～15:45 於大講義室]

志望理由書の書き方、進学先の学校案内や就職先のパンフレットの見方についての講演です。

(株) キッズ・コーポレーション専属講師 ファイナンシャルプランナー 石橋知也氏

🌸 1・2年共通

・**予告**大学・専門学校等の学校説明会 [1 1月 27日 13:00～15:00 於大講義室他]

1学期にも開催した学校説明会。1校25分ずつで3校聞けるように設定しています。毎回多数の生徒が参加しています。今回も9月に案内をしたところ1・2年生で117名の参加者希望者がありました。アンケートでは島根大学をはじめ国公立大学、短期大学、私立大学、短期大学、専門学校あわせて34校の説明会を実施してほしいという要望があり、参加要請をしているところです。詳しいことが決まりましたら連絡いたします。

・**予告**幸雲南塾最終報告会 [1 1月 8日 13:00～17:00 於かもてらす]

雲南市の政策企画部政策推進課から参加の依頼がありました。幸雲南塾の塾生の発表4本を見学できます。内容は①中山間地域で、地域をケアする！訪問看護ステーション開設 ②Iターン者のがっかりをなくしたい！田舎暮らし体験施設運営 ③人口減少で地縁・血縁に変わるNEW縁をつなぎ外から人を呼ぶイベント開催 ④地域の魅力を発信し、交流の拠点となる場づくり事業です。地域産業研究発表会を控えた1年生や地域活性化の取り組みに興味がある生徒は参加してみたいはかがでしょうか。参加希望者は11月2日までに進路指導部岡田まで申し出てください。

🌸 全学年共通

・島根大学学部別説明会 [7月 23日 於総合学科棟]

島根大学松江キャンパスにある法文学部、教育学部、総合理工学部、生物資源科学部の学部別説明会が行われました。写真は法文学部の説明会場です。今年からCOC入試が導入されたこともあり、多くの生徒が参加しました。島根大学は入試の種類が多く、3年生が自分に合った入試形態について質問している姿が見られました。



・'15ふれあいまつり [7月 28日 於しゃぼん玉工房]

雲南広域福祉会が毎年開いている「ふれあいまつり」でボランティア活動を行いました。会場内では受付や食品販売、子供たちと風船で遊ぶブースなど、どこを見ても三刀屋高校生がいるくらいにボランティア参加者が多く驚きました。筆者は午後2時間ほど参加しましたが、非常に暑い日で立ちくらみがする程でしたが、そんな中で活動している生徒の皆さんに感動しました。



・病院祭 [9月 5日 於雲南市立病院]

雲南市立病院の病院祭で2年生4名によるボランティア活動への参加と3年生の医療系への志望者7名によるポスターセッションを行いました。三刀屋高校の地域産業研究や課題研究で医療系の研究に取り組んでいる生徒が毎年いますが、病院祭で発表する機会を得たのは初めてでした。理学療法士の発表では、病院に勤務されている理学療法士の方から助言していただく場面がありました。大変有意義な時間になりました。



表題にある写真は、東京研修旅行のアカデミックインターンシップⅡで訪問した日本工業大学の学食の一角にあった『みのり寿司』で注文した『寒ブリねぎとろ丼』700円です。寒ブリ5切れの下にねぎとろ丼が埋まっています。大将は日本工業大学の卒業生ということで後輩への愛を感じるボリュームでした。